



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月3日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	512,210	0.9	12,223	23.9	13,753	26.1	7,237	47.7
2020年12月期第2四半期	507,826	△3.1	9,868	△26.7	10,902	△26.2	4,899	△37.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 10,441百万円 (668.0%) 2020年12月期第2四半期 1,359百万円 (△87.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	33.80	—
2020年12月期第2四半期	22.54	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	718,091	357,895	45.3
2020年12月期	714,443	362,383	46.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 325,484百万円 2020年12月期 330,486百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	22.00	22.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,037,000	2.2	21,500	23.3	23,200	17.6	10,100	45.2	47.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	220,282,860 株	2020年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	7,447,132 株	2020年12月期	2,891,607 株
-------------	-------------	-----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	214,137,381 株	2020年12月期2Q	217,391,290 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、2021年8月6日(金)に機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(四半期連結損益計算書関係)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が続く中で持ち直しの動きが見られましたものの、個人消費はサービス消費を中心に弱い動きとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下でプチ贅沢の動きなど消費行動が多様化し販売競争が激化する中で、卵や糖類、油脂などの原料価格の上昇もあり収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、外出自粛やテレワークの常態化の影響もあり売上が伸び悩む厳しい状況となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、緊急事態においてパン・和洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの使命に従い、新型コロナウイルス感染拡大の中で製品の安定供給体制を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員を対象として検温を実施し、37.2℃以上の発熱がある者は自宅待機とし、また発熱がない場合でも倦怠感や味覚・嗅覚がない等の新型コロナウイルス独特の体調異常の自覚症状がある者も自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策に加え、WEB会議等を活用して事業所間の出張を制限するなど感染防止対策を徹底するとともに、多人数による会食の原則禁止など公衆衛生上の遵守事項を徹底しました。さらに、工場並びに事業所内の感染防止対策として炭酸ガス濃度測定器を導入して換気の悪い密閉空間の改善に取り組み、常時職場内の炭酸ガス濃度を測定して700ppm以下に保ち感染防止対策とするとともに、従業員向けに新型コロナワクチンの職域接種を実施することを推進し、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my missionの実践、実行、実証」の経営手法によって、ルヴァン種等を活用した品質向上や女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するとともに、高品質・高付加価値・高単価製品や健康志向対応製品の開発に取り組むなど、各部門毎の業績向上をめざしました。また、長年業績不振で苦しんでいるヤマザキパンの小売事業であるデイリーヤマザキ事業を社長直轄とするとともに、日次管理・週次決算の経営手法をヤマザキパンの小売事業に有効に機能させるため小売事業業績改善プロジェクトを設置し、デイリーヤマザキやヴィ・ド・フランスを始めとする小売事業の抜本的な業績改善の取り組みを開始しました。さらに、「いのちの道」の教えの言葉に従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求するため、小売事業本部内に戦略製品・戦略商品開発推進チームを設置し、ヤマザキの総力を挙げて自社業態の業績改善をめざした戦略製品の開発を推進する体制を構築しました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、日次管理・週次決算に取り組み日々の仕事の精度を高めるとともに、DY商品・運営合同小委員会を毎週開催し、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して当社グループ商品の充実と戦略商品の開発に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,122億10百万円(対前年同期比100.9%)、営業利益は122億23百万円(対前年同期比123.9%)、経常利益は137億53百万円(対前年同期比126.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億37百万円(対前年同期比147.7%)となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

## ①食パン部門(売上高487億56百万円、対前年同期比95.1%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」や「ダブルソフト」の拡販をはかるとともに、「超芳醇塩分50%カット」などの健康志向対応製品や高級食パンを発売し取扱拡大をはかりましたが、前期の食パンの需要急増の反動もあり、前年同期の売上を下回りました。

## ②菓子パン部門（売上高1,749億29百万円、対前年同期比101.3%）

菓子パンは、主力の高級シリーズや「アップルパイ」が好調に推移するとともに、買い置き需要に対応した「ベイクワン」シリーズなど複数個入り製品が伸長しました。また、「フレンチクルーラー」などチルド菓子パンが伸長するとともに、新製品の「マリトッツォ」が寄与したこともあり、売上は前年同期を上回りました。

## ③和菓子部門（売上高332億70百万円、対前年同期比96.1%）

和菓子は、主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」やチルド製品の「北海道チーズ蒸しケーキのとろけるぷりん」が好調に推移しましたが、主力の団子、大福、まんじゅうなど和生菓子の不振もあり、売上は前年同期を下回りました。

## ④洋菓子部門（売上高715億67百万円、対前年同期比104.1%）

洋菓子は、高品質・高付加価値・高単価製品を計画的に投入した2個入り生ケーキが伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームが伸長し、3月に品質を向上させた「プレミアムスイーツ」シリーズが寄与しました。さらに、(株)不二家の洋菓子事業が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高699億11百万円、対前年同期比97.3%）

調理パン・米飯類は、第2四半期以降、主要販路であるコンビニエンスストアチェーンとの取引が回復してまいりましたが、前年同期の売上を下回る結果となりました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高814億81百万円、対前年同期比103.8%）

製菓・米菓・その他商品類は、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」や(株)東ハトの「キャラメルコーン」が伸長するとともに、(株)不二家の「カントリーマアム チョコマみれ」や不二家(杭州)食品有限公司の「ポップキャンディ」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は4,799億17百万円（対前年同期比100.4%）、営業利益は130億83百万円（対前年同期比124.7%）となりました。

## &lt;流通事業&gt;

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、直営店舗数の増加により営業総収入は260億11百万円（対前年同期比111.1%）となりましたが、人件費等コストの増加もあり22億6百万円の営業損失（前年同期は19億87百万円の営業損失）となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業につきましては、売上高は62億81百万円（対前年同期比95.0%）、営業利益は10億75百万円（対前年同期比99.3%）となりました。

## (2)財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,180億91百万円で、前連結会計年度末に対して36億47百万円増加しました。流動資産は2,634億98百万円で、新規借入金等による現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に対して72億43百万円増加しました。固定資産は4,545億92百万円で、有形固定資産の減価償却が進んだことにより、前連結会計年度末に対して35億96百万円減少しました。負債合計は3,601億95百万円で、新規借入金の増加などにより、前連結会計年度末に対して81億35百万円増加しました。純資産は3,578億95百万円で、自己株式の取得などにより、前連結会計年度末に対して44億88百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は45.3%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 135 億 3 百万円に加え、減価償却費 177 億 53 百万円などにより 484 億 86 百万円のプラスとなりました。前年同期に対しては 101 億 62 百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより 185 億 49 百万円のマイナスとなりましたが、前年同期に対しては 6 億 32 百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得、借入金の返済などがありましたが、新規借入により 59 億 75 百万円のプラスとなり、前年同期に対しては 151 億 79 百万円収入が増加しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,389億81百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては361億38百万円の増加となりました。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、新型コロナウイルスの接種が進み、景気は持ち直していくことが期待されますが、変異株の感染拡大が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激しさを増す中で、主原料の小麦粉や油脂、卵、糖類など原料価格の高騰が見込まれており、収益が圧迫される厳しい経営環境になるものと予測されます。

当社は、原料価格が高騰する状況が予測される中、引き続き高品質で安全・安心な製品を提供するため、製品規格、製品価格の改定を含めた検討を進めているところであります。さらに、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底につとめるとともに、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my missionの実践、実行、実証」の経営手法によって、製品の品質向上や女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するなど、各部門毎の新しい価値と新しい需要を創造して業績向上をめざしてまいります。また、デイリーヤマザキやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次決算を徹底し、戦略製品・戦略商品開発推進チームにより、「いのちの道」の教えの言葉に従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求してヤマザキパングループの総力を挙げた戦略製品の開発に取り組み、業績回復をめざしてまいります。

なお、2021年2月12日付にて公表した通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	108,588	144,421
受取手形及び売掛金	112,639	85,053
商品及び製品	11,966	11,827
仕掛品	788	855
原材料及び貯蔵品	10,442	9,703
その他	12,212	12,006
貸倒引当金	△382	△370
流動資産合計	256,255	263,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	390,037	391,645
減価償却累計額	△286,569	△289,724
建物及び構築物 (純額)	103,467	101,921
機械装置及び運搬具	521,328	523,841
減価償却累計額	△436,800	△443,416
機械装置及び運搬具 (純額)	84,528	80,425
工具、器具及び備品	36,767	37,054
減価償却累計額	△28,405	△29,131
工具、器具及び備品 (純額)	8,362	7,922
土地	110,593	110,594
リース資産	10,238	10,268
減価償却累計額	△6,315	△5,883
リース資産 (純額)	3,923	4,384
建設仮勘定	4,697	8,082
有形固定資産合計	315,572	313,329
無形固定資産		
のれん	12,030	11,483
その他	9,451	9,474
無形固定資産合計	21,481	20,957
投資その他の資産		
投資有価証券	68,442	69,021
長期貸付金	824	840
退職給付に係る資産	378	394
繰延税金資産	25,409	24,854
その他	28,747	27,851
貸倒引当金	△2,668	△2,656
投資その他の資産合計	121,134	120,305
固定資産合計	458,188	454,592
資産合計	714,443	718,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,466	70,138
短期借入金	50,716	54,573
リース債務	1,499	1,534
未払法人税等	6,179	7,209
未払費用	40,079	36,056
賞与引当金	4,571	4,569
販売促進引当金	1,232	997
店舗閉鎖損失引当金	—	81
資産除去債務	1	19
その他	37,214	32,760
流動負債合計	216,962	207,940
固定負債		
長期借入金	16,601	34,648
リース債務	2,879	3,349
役員退職慰労引当金	4,072	4,048
環境対策引当金	1	—
退職給付に係る負債	100,222	98,933
資産除去債務	4,744	4,728
その他	6,575	6,547
固定負債合計	135,098	152,254
負債合計	352,060	360,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,660	9,635
利益剰余金	299,251	301,705
自己株式	△5,241	△14,817
株主資本合計	314,684	307,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,168	25,476
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	91	480
退職給付に係る調整累計額	△9,556	△8,109
その他の包括利益累計額合計	15,802	17,946
非支配株主持分	31,896	32,410
純資産合計	362,383	357,895
負債純資産合計	714,443	718,091



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	507,826	512,210
売上原価	329,607	331,078
売上総利益	178,218	181,131
販売費及び一般管理費	168,349	168,907
営業利益	9,868	12,223
営業外収益		
受取利息	57	70
受取配当金	663	717
固定資産賃貸収入	455	451
持分法による投資利益	86	231
為替差益	-	342
雑収入	543	510
営業外収益合計	1,807	2,324
営業外費用		
支払利息	328	356
固定資産賃貸費用	168	149
雑損失	275	289
営業外費用合計	773	795
経常利益	10,902	13,753
特別利益		
固定資産売却益	53	47
助成金収入	56	※1 922
その他	-	2
特別利益合計	109	972
特別損失		
固定資産除売却損	492	475
減損損失	478	479
その他	203	267
特別損失合計	1,174	1,222
税金等調整前四半期純利益	9,837	13,503
法人税等	4,851	5,554
四半期純利益	4,986	7,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	712
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,899	7,237

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	4,986	7,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,092	305
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	14	720
退職給付に係る調整額	1,456	1,442
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	23
その他の包括利益合計	△3,626	2,491
四半期包括利益	1,359	10,441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,352	9,381
非支配株主に係る四半期包括利益	6	1,059

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,837	13,503
減価償却費	18,010	17,753
減損損失	478	479
のれん償却額	767	770
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	34	△27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	685	782
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	91	△24
受取利息及び受取配当金	△721	△788
持分法適用会社からの配当金の受取額	86	108
支払利息	328	356
助成金収入	△56	△922
持分法による投資損益 (△は益)	△86	△231
固定資産除売却損益 (△は益)	439	427
投資有価証券評価損益 (△は益)	18	20
売上債権の増減額 (△は増加)	32,583	28,125
たな卸資産の増減額 (△は増加)	893	880
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,624	△5,485
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,438	△4,077
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,223	1,323
その他	△1,046	△1,232
小計	43,115	51,738
利息及び配当金の受取額	722	788
利息の支払額	△329	△339
法人税等の支払額	△5,190	△4,483
その他	7	781
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,324	48,486
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	350	529
有形固定資産の取得による支出	△18,197	△18,217
有形固定資産の売却による収入	102	58
無形固定資産の取得による支出	△1,211	△838
投資有価証券の取得による支出	△75	△15
投資有価証券の売却による収入	6	—
貸付けによる支出	△81	△0
貸付金の回収による収入	34	19
その他	△109	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,181	△18,549

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	486	859
リース債務の返済による支出	△880	△911
長期借入れによる収入	1,200	27,629
長期借入金の返済による支出	△5,210	△6,594
社債の償還による支出	△70	△90
自己株式の取得による支出	△0	△9,575
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△4,334	△4,769
非支配株主への配当金の支払額	△300	△400
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△93	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,204	5,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,935	36,138
現金及び現金同等物の期首残高	105,916	102,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	115,851	138,981

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,555,100株の取得を行っております。この結果等により、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が9,575百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が14,817百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

東京都での4度目の緊急事態宣言が発令される等、新型コロナウイルス感染症の拡大については、今後の収束時期や影響の程度を予測することは困難な状況にあります。ワクチン接種が加速されると想定されますが、新型コロナウイルス感染症の影響は2021年度末までは継続するものと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性にかかる会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性があり、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

また、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症に伴う政府による緊急事態宣言や各自治体からの営業時間短縮要請に応じたフレッシュバーカーリー等小売事業において営業時間の短縮を実施いたしました。

当該営業時間短縮による協力金等は、「助成金収入」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	477,795	23,420	6,610	507,826	—	507,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,310	2,846	17,901	25,059	△25,059	—
計	482,106	26,267	24,512	532,885	△25,059	507,826
セグメント利益又は損失(△)	10,493	△1,987	1,083	9,588	280	9,868

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額280百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,917	26,011	6,281	512,210	—	512,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,548	3,232	17,918	25,699	△25,699	—
計	484,466	29,243	24,200	537,910	△25,699	512,210
セグメント利益又は損失(△)	13,083	△2,206	1,075	11,952	271	12,223

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額271百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	51,279	10.1%	48,756	9.5%	△ 2,523	95.1%
	菓 子 パ ン	172,769	34.0	174,929	34.2	2,160	101.3
	和 菓 子	34,620	6.8	33,270	6.5	△ 1,349	96.1
	洋 菓 子	68,779	13.5	71,567	14.0	2,788	104.1
	調理パン・米飯類	71,850	14.2	69,911	13.6	△ 1,939	97.3
	製菓・米菓・その他商品類	78,495	15.5	81,481	15.9	2,986	103.8
	食 品 事 業 計	477,795	94.1	479,917	93.7	2,122	100.4
	流 通 事 業	23,420	4.6	26,011	5.1	2,590	111.1
	そ の 他 事 業	6,610	1.3	6,281	1.2	△ 328	95.0
	合 計	507,826	100.0	512,210	100.0	4,384	100.9

## (2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家〈連結〉	46,984	50,208	3,223	6.9%	287	1,621	1,333	464.0%
(株)サンデリカ	53,323	51,017	△ 2,305	△ 4.3	△ 364	△ 169	194	—
ヤマザキビスケット(株)	16,628	16,781	153	0.9	175	503	328	186.7
(株)東ハト	13,630	14,335	705	5.2	709	844	135	19.1
(株)ヴィ・ド・フランス	11,566	11,807	241	2.1	△ 1,763	△ 1,487	275	—

## (3)2021年12月期第2四半期の単体業績 (2021年1月1日~2021年6月30日)

## ①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	372,531	1.3	10,513	0.6	12,582	3.1	8,278	4.9
2020年12月期第2四半期	367,820	△ 2.2	10,454	2.6	12,203	△ 1.8	7,892	3.8

## ②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2021年12月期第2四半期	543,948	297,931
2020年12月期	534,510	303,789

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品 種 別	前第2四半期 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		当第2四半期 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	51,880	14.1%	49,380	13.3%	△ 2,500	95.2%
菓子パン	162,458	44.2	167,438	44.9	4,980	103.1
和菓子	34,684	9.4	33,333	8.9	△ 1,350	96.1
洋菓子	54,255	14.8	56,076	15.1	1,821	103.4
調理パン・米飯類	24,263	6.6	23,665	6.4	△ 598	97.5
製菓・米菓・その他商品類	20,531	5.6	20,539	5.5	7	100.0
小計	348,073	94.7	350,434	94.1	2,360	100.7
デイリーヤマザキ事業	26,267	7.1	29,243	7.8	2,976	111.3
内部消去	△ 6,520	△ 1.8	△ 7,146	△ 1.9	△ 626	—
合計	367,820	100.0	372,531	100.0	4,711	101.3